

平成20年度 学習指導計画

科目名 書道Ⅲ (2単位)

	校長	教頭	授業担当者
年度始 (5月)			教諭・鈴木智夫
年度末 (3月)			

1、教科書・副教材

書Ⅲ(光村図書)

2、科目の目標

- 1, 書道における表現活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- 2, 書を楽しむ態度を通して、感性を豊かにする。
- 3, 自己を主体的に表現する能力を伸ばす。

3、年間授業計画

		指導内容	考查範囲	※ 時数(予定/実施)	※ 指導上の留意点・到達目標
1 学 期	4月	漢字仮名交じりの書 1, 書道の学習に必要な用具用材について理解させる。 2, 書道における漢字と仮名の調和について理解させる。 3, 起筆の穂先の向きによっていろいろな線が表現できることを理解させ、練習させる。 4, 用具用材の工夫により、様々な作品を創作させる。	作品評価	12 /	古典の学習で身につけた技能を生かし、自己表現するうえでも、古典に重点を置くようにする。
	5月				
	6月		作品評価	13 /	
	7月				
2 学 期	9月	漢字の書 1, 漢字の成立と変遷について理解させる。 2, 唐代の代表的な書家の作品に触れ、臨書や鑑賞によって理解を深める。 3, 楷書の用筆・運筆法、字形のとり方について理解させる。 4, 楷書と行書との相違、行書の特徴について理解させる。	作品評価	13 /	楷書の特徴と用筆・運筆法・字形の取り方を理解させる。
	10月				
	11月		作品評価	13 /	
	12月				
3 学 期	1月	仮名の書 1, 仮名の成立や仮名の種類などについて理解させる。 2, 仮名の基本的な線、運筆法について理解させる。 3, 変体仮名について理解させる。	作品評価	20 /	仮名の成立や種類、基本的な線、運筆法など基本的な点を理解させる。
	2月				
	3月				

4、評価の方法

- 1, 提出作品(試書・添削を受けた作品)をファイルし、評価します。
- 2, 漢字仮名交じりにおいては、漢字と仮名の調和について理解・表現出来たかが評価の基準です。
- 3, 漢字においては、古典の用筆・運筆法、字形等について理解・表現出来たかが評価の基準です。
- 4, 仮名においては、仮名の基本的な線、運筆法について理解・表現できたかが評価の基準です。

5、反省・総括・次年度への改善点

※

## ※お知らせ※

シラバス(Sheet1)入力と同時に、学習  
指導計画(Sheet2)が自動入力されます。

- ★但し、下記項目は自動入力されません。
- ・実施時数(分母の部分)
  - ・指導上の留意点・到達目標
  - ・反省・総括・次年度への改善点